

労働安全衛生

『安全最優先』の理念の下、『人命尊重』の観点から、労働災害や職業性疾病のない安全で健康に安心して働ける職場づくりを推進しています。

安全で健康に安心して働ける職場を目指して

当社の安全衛生管理は、中央安全衛生管理と事業場安全衛生管理（所工場部門・建設工事部門）に分け、1973年度からスタートした5か年毎の『長期災害減少計画』と年度毎の安全衛生指針に基づき、安全文化を醸成する『仕組みづくり』と『人づくり』を重点課題として推進しています。

また、労働安全衛生マネジメントシステムにつきましては、筑波工場、鹿島工場、大浜工場に引き続き、阪神工場（武庫川）が2003年11月にOHSAS18001の認証を取得しました。尚、その他事業所についても、当社の独自規格である「クボタ安全衛生管理プログラム」に基づき、順次、労働安全衛生マネジメントシステムの構築・運用を図っていきます。

《第7次長期災害減少計画（2003～2007）目標》

- ①重篤、重大災害ゼロ
- ②挟まれ巻き込まれ・墜落転落災害の再発防止
- ③快適な職場環境への改善と心身の健康づくり

製造部門の取り組み

『仕組みづくり』としては、リスクアセスメント手法の導入によるリスク低減活動と機械設備の本質安全化を推進しています。

『人づくり』では、教育研修を積極的に行うことにより、従来の単に法律を守るだけの活動から従業員の安全を配慮する活動へとレベルアップすべく、取り組んでいます。

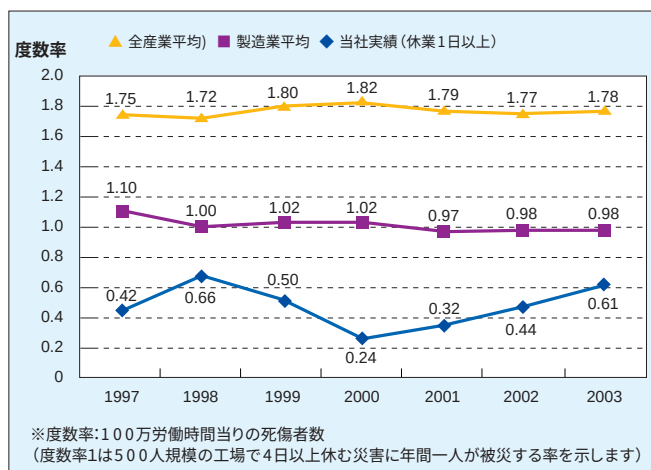
また、各工場における安全衛生管理活動の強化を図るために安全衛生パトロールを実施し、安全衛生管理の更なる向上に取り組んでいます。

安全衛生パトロールの活動状況



クボタ全工場に対して、安全衛生の観点から、パトロールを行い、危険な箇所については、改善を指導しています。

事業所の休業災害度数率の推移



建設工事部門の取り組み

『仕組みづくり、人づくり』の観点から、設計基準の策定・運用及び教育研修、建設工事現場への安全衛生パトロール等の実施により、事業部による店社管理機能の強化、作業所の統括管理の徹底を図って、災害の撲滅に努めています。

《建設工事安全衛生パトロールにおける指導風景》



メンタルヘルスへの取り組み

心の健康に関する社会的な関心が高まる中、メンタルヘルスケアへの取り組みが求められています。メンタルヘルス問題の早期発見と適切な対応を徹底するためにメンタルヘルスに関する正しい知識を社内報や研修会を通じ、全従業員に対して、積極的な啓発活動に取り組んでいます。

職業性ストレス簡易診断システムの全社導入



自席のパソコンで簡単にストレス調査が行えるシステムを全社導入しました。これにより、本人の気付きを促すセルフケアと産業保健スタッフによるケアを推進します。